



# きらぼし 37号

## 😊 安心できる心の基地が子どもを育てる 😊

今回は、総合地球環境学研究所所長の山際壽一さんの著書の中で話されていることから、子育てについて考えたことを書きます。

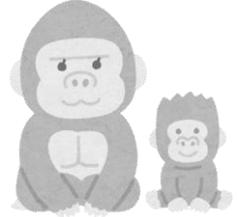
山際さんは霊長類学者でゴリラ研究の第一人者です。

最近の著書『争いばかりの人間たちへ ゴリラの国から』には、ゴリラをはじめ類人猿の子育てと人間の子育てについても書かれています。

ゴリラの子どもは生まれて3年間は母ゴリラに育てられますが、離乳後母ゴリラは子どもを父ゴリラのところへ子どもを連れていきます。

著書の一部を引用して紹介します。

[ゴリラの赤ちゃんは離乳するや否や母親から自立し、堂々と自己主張を始める。逆説的だが、きっとそれは乳児の間にしっかりとケアされているからではないかと思う。常にお母さんに抱かれているから、お母さんを通して世界を受け入れることができ、自分が世界から歓迎されているという自信を抱くことができる。(中略)背中の白いシルバーバックのお父さんはとても優しく、子どもたちを分け隔てなく育てる。(中略)子どもたちはシルバーバックのそばで安心して、自分の興味の赴くままに探索する世界を広げることができる。それが子どもたちの自立を助けるのだ。一方人間は共同保育によってたくさんの子育てしてきたことが、ここまで人間を繁栄させることにつながったのである。しかし、お母さんの手から離されることで、この世界をうまく受け入れられず、自分に自信が持てない子どもが人間にはできる。小さい頃からさまざまな人に渡って抱かれることが人間の利点でもあるが、それが子どもに不安を与えてはいないだろうか。離乳後にお母さんの信頼する保護者に見守られ、子どもたちと対等に付き合う環境が保障されているかどうか、気になる所である。]



この文章は、子どもの成長には親（主に母親）との愛着形成を十分に作る事が大切であることを示唆しています。愛着形成不全は子どもの心身の発達に影響（特に思春期において）があることは周知のことです。

勿論、母親一人に子育てを負わせるという意味ではありません。今待ったなしの、子育て真っ最中の保護者の方たちにとっては、じゃあどうしたらいいのと叫びたくなる気持ちですね。

子どもたちが心豊かに成長することが社会の成長につながります。そのためには保護者の方々が自立して、前に向かって生きていける事が大切です。

そのために地域社会で子育てを支えるシステムがなければいけません。

桑名市では、第1子を出産した母親向けの「ベビープログラム」（通称BP）が実施されています。このプログラムの副題は「思春期から花ひらく乳幼児期の育児」です。子育ての結果があらわれる思春期に親から精神的に自立でき、社会に巣立っていける子どもに育ていくための親子の絆づくりのプログラムです。また、子育て支援センターやプレイルームなど地域全体で子どもを大切に育てようという場所があります。例えば、私もネットワークくわっこでは妊娠期間中にパートナーと一緒に出産後の子育てを勉強することができる「ウエルカムベビープログラム」を子育て支援センター“憩いの広場”で実施しています。

困った時はお互い様で、保護者以外の信頼できる人たちが手を差し伸べています。「人間の利点」に頼って親子で育てていけるといいですね。

単純にゴリラの子育てと人間の子育てを比較することはできませんが、今の子どもたちの様々な問題を考えるヒントになるのではないのでしょうか。





## 第6回 11月24日「外国の人たちと料理で交流」

今年度も子ども向け文化交流の活動をしている“ナタデココ”さんのご協力のもと、名古屋大学に留学されているガンボジアを始めアジア圏の方々が8名参加されました。子どもたちが以前調理体験をした五平餅とロシア料理のオリヴィエという料理を作りました。子どもたちは、先方スタッフのロシア人の方に作り方を質問したり、一緒に班に入って調理をしている外国の方々と身振り手振りや笑顔で意思疎通を図ったりし、にぎやかに時間が過ぎました。できあがったごはんを一緒に食べた後は、互いにメッセージを交換したり、サインをもらったりしました。普段なかなかできない体験をしました。外国の方々も子どもたちのまっすぐに頑張る様子を見て感動していました。2年連続で参加してくださった外国人スタッフもいました。食べる楽しさは世界共通。子どもたちにもそれは直に伝わったと思います。

## 第7回 12月15日「クリスマスを楽しむ食事☆」

毎年子どもたちが「何つくるのオ？」と楽しみにしている回ですが、今年は急に寒くなり体調をくずして来れない子もいて、さみしい気持ちにもなりました。市販のロールケーキを生クリームで飾ったブッシュドノエル。初めは子どもたちは持って帰ると言っていたのですが「いっぱい食べちゃった」といたずらっぽく笑っていました。嬉しくて我慢できなかったんですね。もう一品はミートローフ。子どもたちは、クリスマス気分が盛り上がり、非日常の中で心を解放させていました。



## 第8回 1月19日「メ～ン！メ～ン！手打ちうどんを作るよ！」

これも子どもたちに人気の内容です。うどんの種を足でトントン踏んで打ちます。優しく踏む子やジャンプする子など様々。濃縮タイプのおつゆやつくだ煮など、和風のメニューが意外にも子どもたちには人気でした。“うどんのコシ”が何となくわかったようです。

## 第9回 2月16日「防災調理に挑戦！」

いわゆる“お湯ポチャ”調理。災害時に温かい食事がとれ、ホッとする時間が持てることは大切です。「災害時にこんなごはんが食べられたら嬉しい。」と話す子もいました。食べた後には実際に避難訓練をしました。調理をしているときに大きな地震が起きたらどんな危険があるかを子どもたちで考えました。命を自分で守るということに、子どもたちは真剣に取り組んでいました。災害時に限らず、子どもたちの命を守るとに、私たち大人や社会は子どもたち以上に、真剣に向かい合わなければと思いました。

### くわなメディアライヴ1階 託児室「フレイルーム」から

◎開室時間…9時～18時

◎対象年齢…概ね生後3か月の乳児から就学前の児童

毎年2月～3月は、フレイルームの利用が増える時期です。

4月からの入園に向けて集団遊びに慣れさせたいという理由で利用されるご家庭もあります。今年は「選べる桑名市子育てリフレッシュ事業」の「一時預かりサービスチケット」をご利用される方も増えてきました。

利用をお考えのご家庭は、早めの予約をお願い致します。

★利用の1か月前から予約受付を行っています。



室内を見学したい方、利用の仕方を知りたいなど何でもお気軽にフレイルームにお問合せください。 TEL (0594) 24-1434

## にじっこ～乳幼児と親子のふれあい教室

**募集中!**

今年度もにじっこは乳幼児の親子で共に楽しい時間を過ごすことを目指して活動しています。参加者やスタッフを募集しています。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

《にじっこ》月に2回ずつ定期的を実施しています。どのタイミングで参加してもOK.

- 11月13日「新聞遊び」 参加人数：5組 10名  
新聞を使って創造力を刺激する遊びをしました。新聞が洋服や飛行機に変身し、最後は焼き芋を作ってフィナーレ。五感をたくさん使った遊びができました。
- 11月27日「秋の音楽会」 参加人数：6組 12名  
マラカスやベルなどの楽器を使い、親子でリズムに合わせて演奏して体全体で音楽を楽しみました。
- 12月11日「クリスマス」 参加人数：6組 12名  
クリスマスを楽しむリトミックをしました。音楽に合わせて動き体をいっぱい使って遊びました。そしてサンタさんが登場！ワクワク楽しい時間を過ごしました。
- 1月8日「ボールであそぼう」 参加人数：4組 8名  
ボール転がしや投げる遊びで、子どもたちの楽しそうな声が響き渡りました。
- 1月22日「節分工作」 参加人数：4組 12名  
節分の絵本を読み、鬼のお面を作り、豆の代わりにボールを使って遊びながら節分の楽しさを体験しました。
- 2月12日「からだをうごかそう」 参加人数：6組 12名  
フラフープ、マット、平均台を使ったサーキットで元気に遊びました。

《ファミリーリトミック》 不定期開催のため、その都度参加者をネットなどで募集しています。

- 11月19日（くわなメディアライブ2階 和室） 参加人数：8組 21名  
「〇〇の秋」をテーマにして、リトミックやパネルシアター、楽器工作、ダンスなどを通じて、五感で秋を感じました。
- 2月1日（くわなメディアライブ2階 和室） 参加人数：8組 23名  
節分をテーマにしました。鬼の仮装に少し怖がる子どももいましたが、ボールを豆に見立てて豆まきをして遊び、ミュージックパネルシアターも楽しみました。



保護者の声

新聞遊びや節分工作など、子どもが自分の手で作ったものを持ち帰ることができ、楽しんでいる姿を見て嬉しかった。



秋を感じたりクリスマス、節分など、季節の行事をテーマにした活動が良かった。



音楽や体を使った活動を親子で一緒に楽しめて、子どもの成長を感じることができました。



この活動は、親子の絆を深めるだけでなく、子どもたちが想像力や表現力を育む場として、幅の広い充実した内容を提供しています。今回は、特に、季節感を取り入れたテーマ（〇〇の秋、クリスマス、節分）で子どもたちが行事の意味を楽しく学びながら体験できたことが、保護者からも好評でした。また、音楽や工作を通じて、子どもたちの感受性や想像力を引き出すことができた点が、今後の活動にも生かせるポイントだと感じました。今後も参加者のニーズに応じて多様化させていくことが大切だと感じています。



「にじっこ」やその他の企画などは、ブログから様子をご覧ください。  
ご興味のある方は、ぜひブログをご覧ください。



## ★ 小学生のお子様のことも話に来てください。子どものことをおしゃべりしましょう！

4月の入園・入学に向けて、お子さんも保護者の方も準備に追われ、何かとソワソワ落ち着かない時です。今までとは違ったタイムスケジュールでの生活に不安をお持ちの方もいらっしゃると思います。

また、入園後、入学後に不安や悩みが出てくることがあるかもしれません。

子育て支援センターは、未就学のお子さんと保護者の方が利用していただける施設ですが、憩いの広場では、土曜日にスクールハートパートナーのスタッフが勤務しており、小学生以上のお子さんについての相談も受け付けています。気軽にお声がけください。

※スクールハートパートナー：小・中学校に配置され、教員・子ども・保護者の相談にのったり、コーディネートをしたりします。



子育て支援センター「子育て憩いの広場」は“駆け込み寺”です。

無理をせず我慢せず、SOSを発信してください。「つらい」「しんどい」「助けて」が言える場所です。

電話相談もできます。気軽に遊びに来てね！誰かと話すだけで気持ちは変わる！

### <子育て支援センター憩いの広場講座> 「ウェルカムベビープログラム」

★赤ちゃんが生まれるまでに育児のアレコレを体験してみましょう。

妊婦さん同士おしゃべりしたり、助産師さんに質問したり、  
出産前のゆとりがある時に安心を手に入れませんか！

対象：妊娠中の方とパートナー

参加費： 無料

参加者受付中！

2025年度 7月実施（7月5日・12日・19日）

11月実施（11月15日・22日・29日）

2月実施（2月28日・3月7日・14日）

●お問合せは『子育て憩いの広場』にご連絡ください。



### 賛助会員のみなさま 私どもの活動にご賛同、ご支援、誠にありがとうございます。

- 瀬古利彦様 ■ ミズタニセイキ様 ■ 大善鉄工株式会社様 ■ 株式会社日永屋様
- 法盛寺様 ■ 御菓子司保々屋様 ■ 五大茶屋様 ■ エスケー電気工事株式会社様
- 株式会社新技術グローバルコンサルティング様 ■ 株式会社山盛堂本舗様
- 有限会社美鹿山荘様 ■ 株式会社東亜機工様 ■ 大洋産業株式会社様
- 株式会社アツマヤ様 ■ 株式会社アサプリホールディングス様 ■ 有限会社大栄製作所様
- オークズデリカ株式会社様 ■ 株式会社金星堂様 ■ 竹内ひろ子様 ■ 鬼頭和子様
- その他の企業 1社様 ■ その他の個人 7名様

### 2025年度のお知らせ

「ボランティア講座」  
「子ども料理探検隊」

6月8日（日）・15日（日）  
4月下旬にチラシを配布します。

●編集・発行・問合わせ

NPO法人ネットワークくわっこ

〒511-0073

桑名市北寺町61

TEL & FAX 0594-21-0501

E mail kuwakko@par.odn.ne.jp

ホームページを見てね。  
いろんな活動を紹介します。

ネットワークくわっこ



Instagramも見てね

